

1%
CHG AL

ペンシルで簡単消毒!



血管内留置カテーテル関連感染予防のためのCDCガイドライン(2011年)において、皮膚消毒は0.5%を超える(>0.5%)濃度のクロルヘキシジンアルコールが推奨されました。

透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(四訂版)(2015年)において、バスキュラーアクセスの消毒に適した製剤の一つとして0.5%を超える濃度のクロルヘキシジングルコン酸塩含有アルコールが推奨されました。(エビデンスレベル: Level1A)

外用殺菌消毒剤

薬価基準未収載

ヘキサック® AL1%OR液 16mm綿棒セット

Hexizac AL 1% OR Solution 16mm Cotton Stick Set クロルヘキシジン製剤

禁忌(次の患者及び部位には使用しないこと)

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 脳、脊髄、耳(内耳、中耳、外耳)
〔聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。〕
3. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面
〔クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。〕
4. 損傷皮膚及び粘膜(エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。)
5. 眼



ヨシダ製薬

血管アクセスデバイス 穿刺部位などの皮膚消毒に

ヘキサック® AL1%OR液16mm綿棒セット

1^{w/v}%クロルヘキシジンエタノール綿棒



手指・皮膚

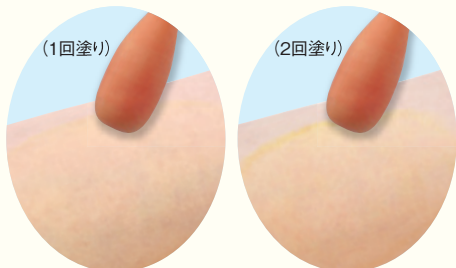


火気厳禁

特徴

- ❖ 殺菌作用は迅速かつ持続性があります。
- ❖ クロルヘキシジンを吸着しにくい綿棒を使用しており、クロルヘキシジンの濃度低下はみられません。
- ❖ 皮膚を着色するため消毒範囲がわかります。

綿棒含浸時と皮膚塗布後の色調



ヘキサック®AL1%OR液16mm綿棒セット



[参考]
10%ポビドンヨード水溶液



[実物大]

携帯に便利

作業の省力化

衛生的

個包装で
使い切りタイプです。

操作性

持ちやすく折れにくい
プラスチック軸を
採用しています。

消毒に適した
薬液量

薬液使用量の
無駄がありません。

有効性

各種細菌・真菌に対する殺菌効果¹⁾

ヘキサック®AL1%OR液16mm綿棒セットの薬液について、各種細菌および真菌に対する殺菌力試験を行った。その結果、供試したグラム陽性・陰性菌、真菌(酵母)において30秒で殺菌された。

供試菌株		殺菌時間
グラム陽性菌	<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC6538	30秒
	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) CI	30秒
	<i>Staphylococcus epidermidis</i> JCM2414	30秒
	<i>Enterococcus faecalis</i> JCM5803	30秒
グラム陰性菌	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC15442	30秒
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> CI	30秒
	<i>Escherichia coli</i> ATCC10536	30秒
	<i>Serratia marcescens</i> JCM1239	30秒
	真菌(酵母) <i>Candida albicans</i> ATCC10231	30秒

CI: 臨床分離株

各種細菌・真菌に対する抗菌効果¹⁾ 【MIC(最小発育阻止濃度)】

ヘキサック®AL1%OR液16mm綿棒セットの薬液のMICを、日本化学療法学会標準法(微量液体希釈法)を準用して試験を行った。結果を以下に示す。

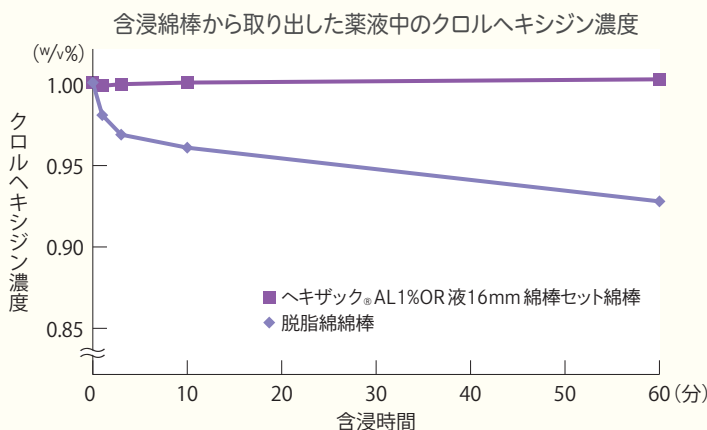
供試菌株		MIC (μg/mL)
グラム陽性菌	<i>Staphylococcus aureus</i> ATCC6538	1.6
	<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA) CI	1.6
	<i>Staphylococcus epidermidis</i> JCM2414	1.6
	<i>Enterococcus faecalis</i> JCM5803	6.3
グラム陰性菌	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC15442	50
	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> CI	25
	<i>Escherichia coli</i> ATCC10536	1.6
	<i>Serratia marcescens</i> JCM1239	50
	真菌(酵母) <i>Candida albicans</i> ATCC10231	12.5

CI: 臨床分離株

1) 社内資料: ヘキサック®AL1%OR液16mm綿棒セットの殺菌効果および抗菌効果

クロルヘキシジンの綿棒への吸着²⁾

ヘキサック®AL1%OR液16mm綿棒セットの綿棒に、本剤の薬液(1w/v%クロルヘキシジン(CHG)エタノール)4.8mLを室温で一定時間(1分、3分、10分、60分)含浸させた後、綿棒から薬液を搾りとり、CHGの濃度を測定した。また脱脂綿綿棒についても同様に試験を行った。その結果、脱脂綿綿棒ではCHGの吸着により、含浸時間の経過とともにCHG濃度は低下し、含浸60分後において0.93w/v%であった。一方、本剤の綿棒ではどの時点においても、CHG濃度は約1.00w/v%であり、CHGを吸着しないことが確認された。

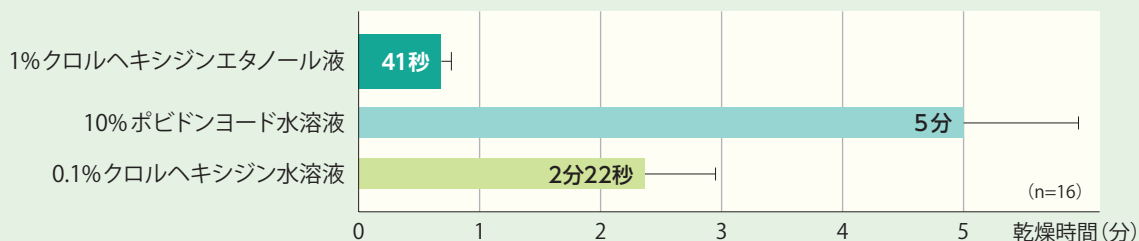


2) 社内資料: ヘキサック®AL1%OR液16mm綿棒セットの綿棒への吸着に関する資料

参考 各消毒薬の皮膚塗布後の乾燥時間³⁾

1%クロルヘキシジンエタノール液、10%ポビドンヨード水溶液、また0.1%クロルヘキシジン水溶液を12mmサイズの綿棒に十分に含浸させ、被験者の前腕屈側部(約5×8cm)にそれぞれ2回塗布し、塗布中央部が完全に乾燥するまでの時間を測定した。各消毒薬の平均乾燥時間は、1%クロルヘキシジンエタノール液では41秒であったが、0.1%クロルヘキシジン水溶液では2分22秒、10%ポビドンヨード水溶液では5分を要した。この結果から、1%クロルヘキシジンエタノール液は速乾性であることが確認された。

各消毒薬の皮膚塗布後の乾燥時間



(測定時の条件: 室温: 20.8~25.0℃; 平均 22.5℃、湿度: 26.9~38.0%; 平均 29.5%)

3) 社内資料: 1%クロルヘキシジンアルコール液の皮膚塗布後の乾燥時間

綿棒の取扱い方法

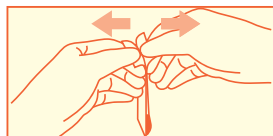
以下のようにして薬液を含浸させて、開封してください。薬液と綿棒が見える向きに持ち、綿棒を押込んでください。



1 綿棒を両手で押さえるように持つ



2 綿棒を薬液側に押込む



3 フィルムを左右に剥がす



4 綿棒を取出す



5 皮膚に塗布する

外用殺菌消毒剤

薬価基準未収載

ヘキサック® AL1%OR液16mm綿棒セット

Hexizac AL 1% OR Solution 16mm Cotton Stick Set ●1%クロルヘキシジンエタノール綿棒



手指・皮膚



火気厳禁

貯法：遮光した気密容器に入れ、火気を避けて室温保存
使用期限：3年（箱に記載）

日本標準商品分類番号	872619
承認番号	22500AMX01885000
薬価収載年月	薬価基準未収載
販売開始年月	2014年2月
再評価結果公表年月	1992年6月

効能・効果、用法・用量、禁忌、使用上の注意等の改訂にご留意下さい。

禁忌(次の患者及び部位には使用しないこと)

1. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 脳、脊髄、耳（内耳、中耳、外耳）
〔聴神経及び中枢神経に対して直接使用した場合は、難聴、神経障害を来すことがある。〕
3. 腔、膀胱、口腔等の粘膜面
〔クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。〕
4. 損傷皮膚及び粘膜（エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。）
5. 眼

- (3) 本剤が眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちによく水洗すること。
- (4) 広範囲または長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。（エタノール蒸気に大量にまたは繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある。）

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

※(1) 重大な副作用

ショック(0.1%未満)、アナフィラキシー(頻度不明)：ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

種類\頻度	5%以上又は頻度不明	0.1%未満
過敏症 ^{注1)}		発疹、蕁麻疹等
皮膚 ^{注2)}	刺激症状	

注1)このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し再使用しないこと。

注2)このような症状があらわれた場合には、使用を中止すること。

4. 適用上の注意

- (1) 投与経路：外用にのみ使用すること。
- (2) 使用時
 - 1) 石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
 - 2) 同一部位（皮膚面）に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
 - 3) 血清、膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、十分注意すること。
 - 4) 本剤はエタノールを含有するので、火気に注意すること。

5. その他の注意

クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

取扱い上の注意

1. 本剤の付着した白布を直接次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生ずることがあるので、漂白剤としては、過炭酸ナトリウム等の酸素系の漂白剤が適当である。
2. 開封後は速やかに使用すること。

包装

1本入×24

規格	調剤包装単位コード	販売包装単位コード
1本入×24	(01)04987288951025	(01)14987288951015

組成・性状

1. 組成

成分・含量	担体	添加物	薬液量
本溶液4.8mL中、日局クロルヘキシジングルコン酸塩液0.24mL(クロルヘキシジングルコン酸塩として0.048g)を含む。	綿棒	エタノール、赤色227号、赤色2号、黄色203号、pH調整剤	綿棒1本あたり本溶液4.8mL

2. 製剤の性状

本剤の薬液は、だいたい色澄明の液で、特異なにおいがある。

効能・効果

手指・皮膚の消毒

用法・用量

手指・皮膚の消毒には、洗浄後、1日数回適量を塗布する。

使用上の注意

1. 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)

- (1) 薬物過敏症の既往歴のある患者
- (2) 喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある患者

2. 重要な基本的注意

- ※(1) ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
- (2) 産婦人科用(腔・外陰部の消毒等)、泌尿器科用(膀胱・外性器の消毒等)には使用しないこと。

■詳細は製品添付文書をご参照ください。

※2017年10月改訂



ヨシダ製薬

製造販売元

吉田製薬株式会社

埼玉県狭山市南入曽951

【製品情報サイト】<http://www.yoshida-pharm.jp/>

資料請求先

吉田製薬株式会社
東京都中野区中央5-1-10
Tel:03-3381-2004

©1805IS
400126
2018年5月改訂